

第36回広島文化賞受賞記念

花柳雅豊公演

長唄「静と知盛」

〔立方〕花柳雅豊

〔地方演奏〕東音秀島いづみ社中、藤舎呂秀社中

箏曲「千鳥の曲」

〔立方〕花柳雅あやめ、花柳雅凜佳、

花柳雅明音

〔地方演奏〕雲母 KIRARA

司会：花柳佳雅京 狂言：花柳雅暢彰
かつら：八木(京都) 衣装：松竹(大阪)

総合監督：西川鯉芸廊

入場無料
事前申込・先着200名

とき 平成28年12月24日(土) 14:00開演 (13:00開場)
ところ 広島県民文化センター・ホール

〈申込方法〉 必要事項を明記した申込用紙(様式不問)に返信用切手(82円分)を添えて封書にてお申し込みください。
入場整理券を郵送します。(複数名でのお申し込みの場合は代表者宛に郵送します。)

【必要事項】 申込者氏名(5名まで。代表者に下線)、代表者の住所・郵便番号・電話番号

※お申し込みの際にいただいた個人情報は、本件に関する連絡にのみ使用させていただきます。

主催・申し込み・問合せ先 /  公益財団法人ひろしま文化振興財団

〒730-0051 広島市中区大手町1丁目5-3 広島県民文化センター内

TEL 082-249-8385 / FAX 082-249-7531 / ホームページ <http://www.h-bunka.or.jp>



はなやぎまさとよ

花柳雅豊

広島市在住の舞踊家。4歳から日本舞踊の道に入り、15歳で花柳雅豊の芸名を取得、1960年には、呉市、広島市、坂町で稽古場を持つとともに、長年にわたり、花柳会の要職を務めている。活動範囲は国内にとどまらず、米国や韓国、ヨーロッパなどへ文化芸術親善訪問などを行っている。その他、文化教室や保育園での講師、けんみん文化祭ひろしまでの審査員を務めるなど、地域での伝統芸能の継承にも貢献している。

広島市文化協会日舞部会長、日本舞踊花柳会中国支部事務所であるとともに流派を超えた公益社団法人日本舞踊協会広島県支部の初代支部長としても活躍している。

1983年 広島市教育長賞、2012年 広島市政功労表彰、2013年 呉市表彰を受賞。

2015年 第36回 広島文化賞（個人の部：舞踊・邦舞）受賞

＜広島文化賞＞ 広島県内各地で活動を行い、地域文化の向上、普及に貢献した個人・団体に対して公益財団法人ひろしま文化振興財団により贈られる。第1回（昭和55年）から第36回（平成27年）までの間に個人116人、団体86団体が受賞している。

＜演目＞ 解説：花柳雅豊

長唄「静と知盛」 明治18(1885)年 河竹黙阿弥作、三代目杵屋正次郎作曲、初代花柳寿輔振付

〔唄〕 東音大森多津子、東音林典子、東音河合夏奈子 〔三味線〕 東音秀島いづみ、東音川辺孝子、東音植松美名 〔囃子〕 藤舎呂秀、藤舎円秀、藤舎呂英、住田福十郎、藤舎秀啓

平家物語の中にある平知盛の話をした能や歌舞伎の「船弁慶」。前半は、落ちていく源義経と愛人静御前との悲しい別れの場で、後半は、壮絶な死で海に沈んだ平知盛の亡霊が源義経の船を襲い行く手を阻むが、弁慶の念力で亡霊が力萎えて消えていくという話。

～ 劇的なところを省略して、前半は別れの場の「都名所」の曲を踊り、後半は亡霊が海上に現れて海を荒らしやがて消えていく場を一人で踊ります。前シテ、後シテに分かれ、静御前と平知盛の二役をするのが役者冥利に尽きる場所です。～

箏曲「千鳥の曲」 安政2(1855)年頃 吉沢檢校作曲、花柳雅豊振付

〔箏本手〕 植松雅音、原雅友理 〔箏替手〕 山田雅由 〔17弦〕 舛本未来 〔尺八〕 花本葆山

古今和歌集 しほ 汐の山さし出の磯に住む千鳥、君が御代おば八千代とぞなく
金葉集 淡路島、通ふ千鳥の鳴く声に 幾夜寝ざめぬ須磨の関守

～ 平安時代の和歌二曲で瀬戸内海の情景を三人の若手ホープが踊ります。～



＜会場＞

広島県民文化センター 〒730-0051 広島市中区大手町1丁目5-3
TEL 082-245-2311 / FAX 082-245-2315

(バス・電車:「紙屋町」「紙屋町西」で下車)

広島駅から.....バス、電車で約10分

広島バスセンターから.....徒歩約3分

広島空港から.....バスで約60分(エアポートリムジンバス)

広島港から.....バス、電車で約30分

アストラムライン本通駅から.....徒歩約2分